

【数学】 シラバス

時数 1 時間 / 週

教科等のねらい

・日常生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、実生活に生かすための技能や意欲を育てる。

主な指導内容

・四則計算 ・長さ、重さなどの単位 ・図形 ・金銭の正しい使い方
 ・百分率、割合 ・時計や時刻表の見方 ・時間の計算

評価方法

・観点（①関心・意欲・態度、②数学的な見方や考え方、③技能、④知識・理解）を設定し、複数職員の観察から評価する。
 ・単元又は学期ごとに、達成度を図るため確認テストを実施する。

指導計画（生徒の実態に応じて、内容を重点化して指導する。）

月	単元名	指導内容（◎重点）	主な学習活動	評価の観点
4月 ～ 7月	・ものを数える	<ul style="list-style-type: none"> ・1つずつ数える ・品物をいくつかまとめた（2つずつ、3つずつ等）「〇組」「〇ダース」という数え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を用いて1つずつ数える。 ・具体物を2個ずつ、3個ずつなど指示された数をまとめて1単位として数える。 	②③
	・四則計算	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりや繰り下がりのない加法、減法 ・繰り上がりや繰り下がりのある加法、減法 ・乗法九九 ・筆算の仕方 ・九九を使った乗法、除法 ・分数の計算 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じて桁数を変えながら、加法・減法、乗法・除法の計算プリント等に取り組み、計算技能を高める。 ・電卓の使い方を理解し、正しく計算する。 ・分数の意味や表し方を学び、生活場面での活用方法を知る。 	③④ ③ ②
9月 10月	・金銭の正しい使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・硬貨や紙幣の種類 ・合計金額の計算 ・釣り銭のある買い物 ・レシートの確認方法 ・消費税の計算 ・割引金額の計算 ・予算に応じた買い物の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を操作しながら、硬貨や紙幣の種類を区別する。 ・代金の合計金額を、暗算・筆算・電卓などで計算する。 ・買い物などの具体的な場面を想定して、100円、200円などのおつりができる計算をする。 ・レシートを見て、品物の代金や合計金額、消費税等を読み取る。 ・2割引の金額や消費税分を含めた金額を、電卓を使って計算する。 ・計画的な支出を考えながら、買い物のロールプレーをしたり、お小遣い帳を付けて計算したりする。 	③④ ② ③④ ①

11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 時計の正しい使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 時刻の読み取り 24時間制での時刻表示 バスや列車の時刻表の読み取り 簡単な時間計算 休日の行動などの計画 	<ul style="list-style-type: none"> 時計を見て、時刻を読み取る。 単位関係（1日は24時間、1時間は60分）や午後3時は15時として表せるなどの24時間制の読み取り練習をする。 ○時間、○分間等の時間経過を計算する。 起床時刻、約束の時刻、そのための出発時刻などを考え、時間を有効に利用する1日の行動計画を立てる。 	④ ③ ①
1月 ～ 2月	<ul style="list-style-type: none"> 長さ 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な用具を活用した長さの測定 単位の関係 	<ul style="list-style-type: none"> 定規やメジャーなどを使って、身の回りの物や教室の長さなどを実際に測る。 m、kmなどの単位を変換し、通学距離や地域間の距離などを学習する。 	③④
	<ul style="list-style-type: none"> 重さ 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な用具を活用した重さの測定 単位の関係 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルばかりや上皿自動ばかり、体重計などを使って、様々な物の重さを実際に量る。 g、kgなど単位を変換し、身の回りの物の重さを学習する。 	③④
3月	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 1年間のまとめをする 	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の学習内容を確認する 	